



傑作！北斎漫画

2025年12月11日(木)～2026年1月18日(日)

北斎の代表作であり、西洋で巻き起こったジャポニスムの要因の一つとも言われる『北斎漫画』。絵手本（絵の教科書）でありながらも鑑賞性が高く、絵師を志す者その他に市井の人々も買い求めるベストセラー作品になりました。

北斎漫画は、文化11年（1814）に名古屋の版元である永楽屋東四郎より出版され、北斎没後の明治11年（1878）刊行の十五編を以って完結しました。その始まりは、初編の序文によると、北斎が文化9年（1812）に名古屋を訪ねた際、門人の牧墨僕宅に逗留し描いた300図余の下絵であったと伝えています。人々の生活の様子や職人の勤労の姿、動植物、魚類、はたまた住居や風景などが大量に描かれた北斎漫画は、のちに北斎が「森羅万象を描く絵師」と評される所以となった作品ともいえるでしょう。

本展では、全15冊に収載された多種多様なイラストとそれに関連する作品をご紹介します。『北斎漫画』を「知る」「楽しむ」という2つ観点から、本作の傑作たる所以とその面白さをお楽しみください。

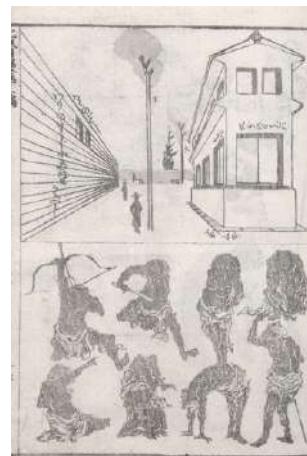
| 見どころ |

① 北斎漫画を「知る」展示へようこそ

『北斎漫画』の出版から完結に至るまでの約64年に渡る期間。北斎漫画はどのような経緯を得て出版されたのか。また北斎漫画に描かれたイラストの検証や海外に及ぼした影響など、北斎漫画とは何なのかをご紹介します。



『北斎漫画』三編「風雷」



『北斎漫画』三編「三ツワリの法」



『北斎漫画』五編「輪藏ノ内」



『北斎漫画』五編「猿田彦太神・天臼女命」



| 見どころ |

② 北斎漫画を「楽しむ」展示室へようこそ

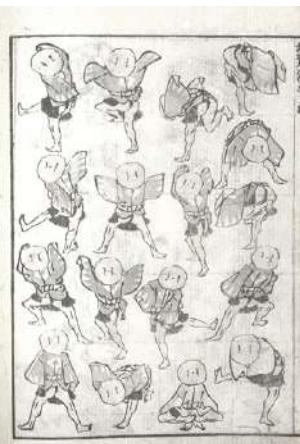
『北斎漫画』に描かれたデザインは、およそ3900図といわれています。そこには人々の生活の様子や動植物、風景、中には変顔といった少し変わったイラストもあります。それらのイラストを用いて「見て楽しむ北斎漫画の世界」を開展します。



『北斎漫画』十三編「笠の渡」



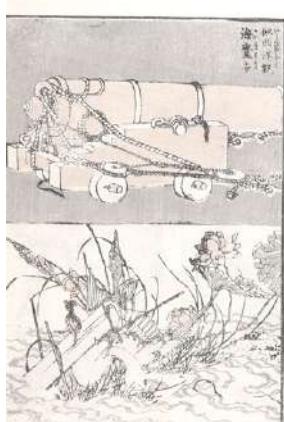
『北斎漫画』三編「雀踊り」



『北斎漫画』初編「動物」



『北斎漫画』十一編「安志尾の裏山庚申山猿が浄土」



『北斎漫画』十一編「似西洋銃海魔伐・弓締」



| 主な展示作品 |

③ 北斎館初展示！

東町・上町祭屋台天井絵の高精細複製画をご紹介

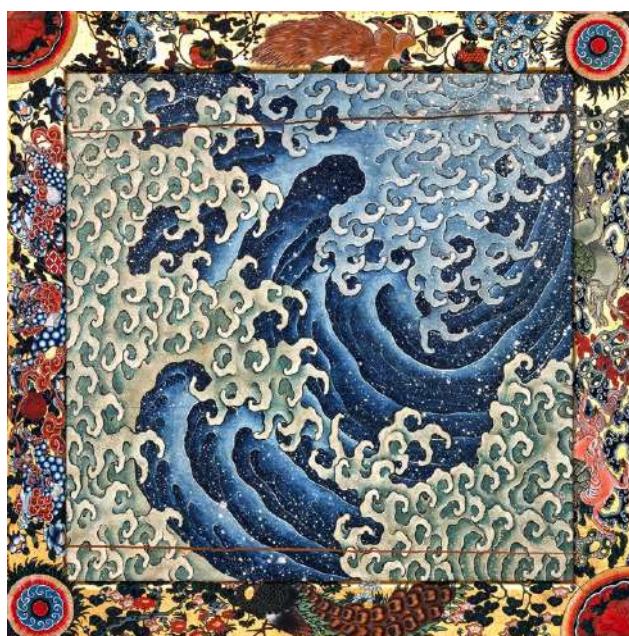
2024年に「Digital × 北斎」（企画運営：NTT ArtTechnology）で展示された「龍」「鳳凰」「男浪」「女浪」の高精細複製画を北斎館で初展示します。（株）アルステクネの独自技術で再現された北斎の精緻な描写をご覧いただきます。



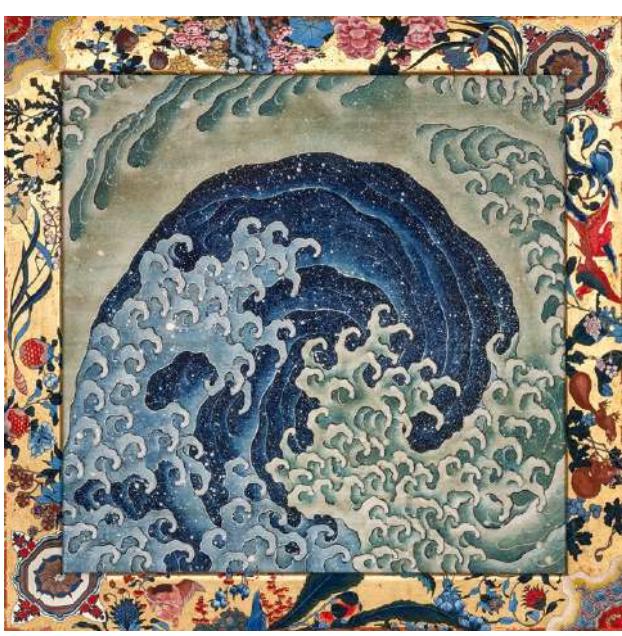
東町祭屋台天井絵「龍」



東町祭屋台天井絵「鳳凰」



上町祭屋台天井絵「男浪」



上町祭屋台天井絵「女浪」

| 関連イベント |

○ 学芸員によるギャラリートーク

開催日：2026年1月3日（土） 午後2時～（30分程度）

会場：北斎館展覧会場内（集合場所：映像ホール前廊下）

参加費：無料（予約不要。要入館券）

| 開催概要 |

展覧会名：傑作！北斎漫画

開催日：2025年12月11日（木）～2026年1月18日（日）

開館時間：9時～17時（最終入館16時半）

※1月1日は午前10時から午後3時まで

休館日：12月31日（水）

会場：北斎館（長野県上高井郡小布施町小布施485）

入館料：大人800円／高校生・大学生300円／小中学生100円

※空調工事により、第3展示室・祭屋台展示室が閉室

（祭屋台天井絵は高精細レプリカの展示 協力：株式会社NTT ArtTechnology、
株式会社アルステクネ）

○ プレス・広報ご担当の方へ

北斎館は2026年に開館50年を迎えます。
北斎館公式サイトでは多国語対応を開始し、
プレスの方へ（プレスリリース）ページでは、
様々な活動を発信しています。

50周年事業の詳細、今後の予定については、
ぜひ、50周年特設サイトをご覧ください。
取材等のお問い合わせをお待ちしております。



プレスリリース



50周年特設サイト

お問い合わせ先

一般財団法人 北斎館（広報：飯塚）

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施485

Tel: 026-247-5206 Fax: 026-247-6188 Mail: pr@hokusai-kan.com



hokusai-kan.com

